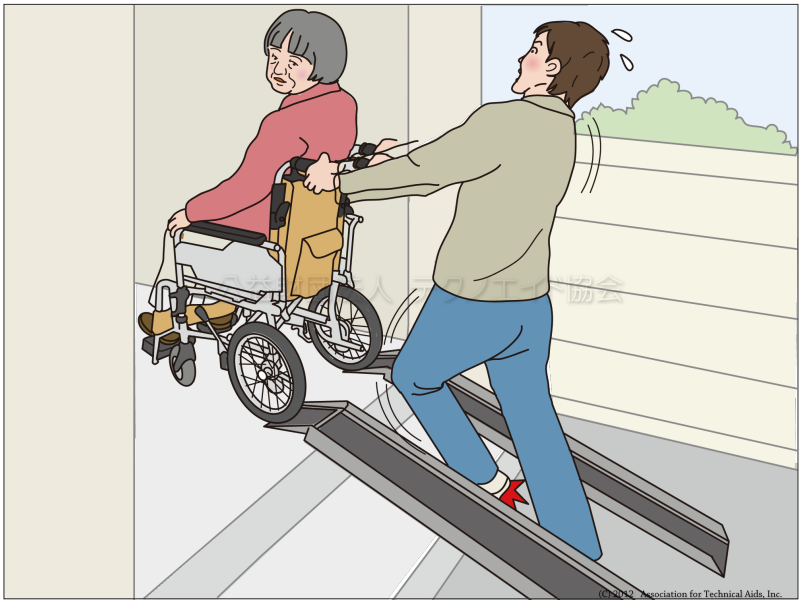
# 福祉用具ヒヤリハット情報

**Case：149**

## 階段を踏み外し、転倒しそうになる

### 場面の説明

足元をよく見ずに階段を下りたため、足を踏み外して転倒しそうになった




| | |
|---|---|
| 利用シーン | 移動<br>階段の昇り降り |
| 主な利用場所 | 階段<br>玄関<br>段差・縁石 |
| 介護保険の種目 | スロープ |
| 分類コード(CCTA95) | 183015(携帯用スロープ) |
| 介護テクノロジー | ― |
| 二次元バーコード | |

### 解説

この事例のようなレール形のスロープで起こり易い事例です。スロープで段差を下りる場合、介助者は後ろ向きになることが基本となりますが、レール形のスロープでは、足元が狭くまた見づらいために注意が必要です。車いすの手押しハンドルにブレーキが付いていると、介助にも少し余裕が生まれます。介助力と段差の高さに合わせ、スロープの形態や車いすの機能を選定しましょう。

### 参考要因

人：スロープにタイヤを乗せることに気をとられていた
人：足元をよく見ていなかった
モノ：短めのスロープで、角度が急だった
環境：敷地の関係で、緩やかな長めのスロープを利用できなかった

Copyright 2000-2012 Association for Technical Aids, Inc. All rights reserved.